

※TYLO サウナヒーター各機種共通・重要事項

TYLO 社のサウナヒーターは本体の真下付近の温度が 47℃以上になると自動的に電源が落ちる仕組みで安全性を高めています。

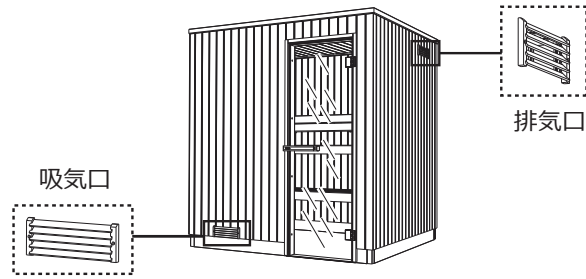
その為、TYLO 社の純正サウナユニットは予めサウナ室内に自然吸・排気口が設けられていて使用中は絶えず空気を循環して使用するようになっています。

建築でサウナルームを制作し TYLO 社のサウナヒーターのみを設置する場合も同じように吸気口と排気口を設置して空気を循環させて使用する必要があります。

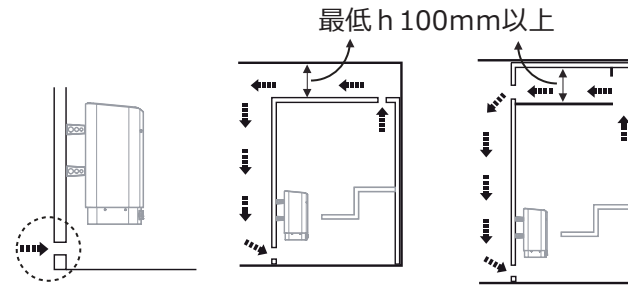


空気の換気・循環が出来ないとサウナヒーターが正常に動かず機械が途中で止まってしまい使用する事が出来ません。
(空気の循環が出来ないと機械の故障の原因になり保証も対象外とさせていただきます)

TYLO 社の純正サウナユニットの換気口の位置

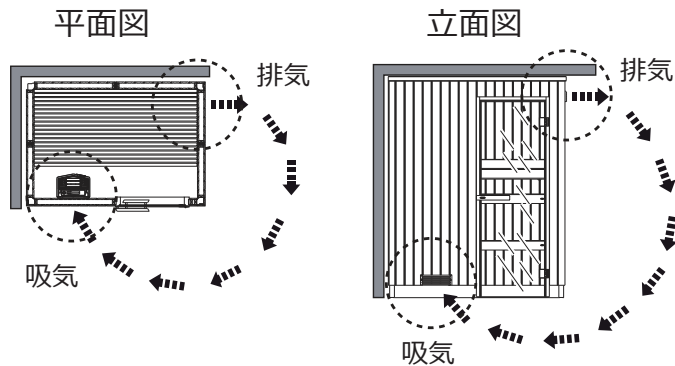


天井から排気させる場合

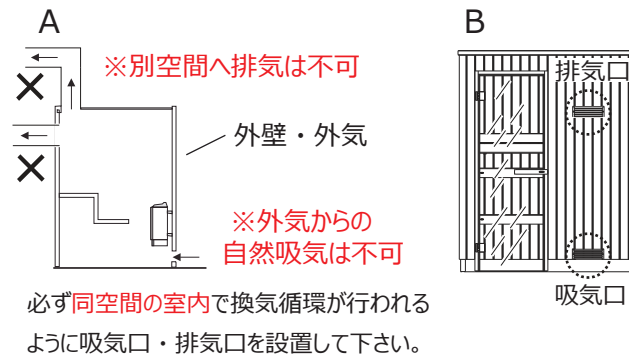


※垂れ壁を設置する場合も天井部から排気された空気が前面のヒーター部分に循環するように換気ガラリを取付して排気された空気を遮断しない様にしてください。

空気循環イメージ



× な設置例 A と B



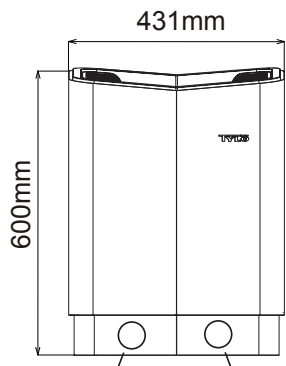
※吸気口と排気口は対角部の離れた場所に設置しなくてはなりません。このケースだとサウナ室内の空気が循環せずにショートサーキットを起こしてサウナヒーターが止まってしまいます。

必ず同空間の室内で換気循環が行われるように吸気口・排気口を設置して下さい。

いずれかの方法で吸気口・排気口を設置してください、吸気口はサウナヒーター真下に設置して排気口はその対角部の出来る限り距離を取って空気が循環対流するようにして設置して下さい。

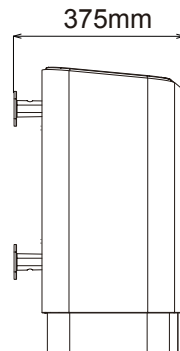
(吸気口・排気口の大きさは共に 100mm×100mm程度の大きさにしてください)

正面図

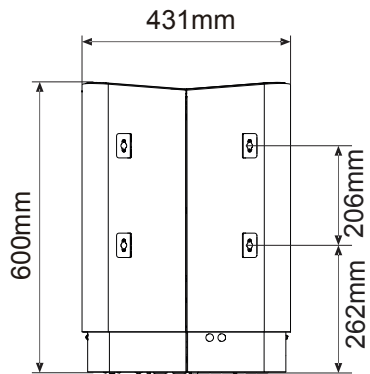


電源スイッチ&タイマー 温度調節レバー

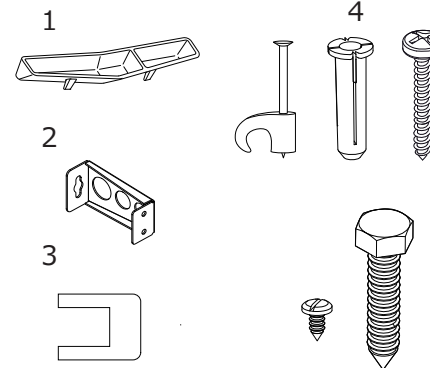
側面図



背面図

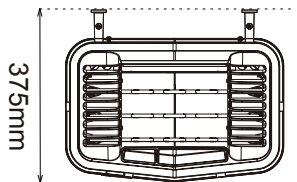


同梱付属品

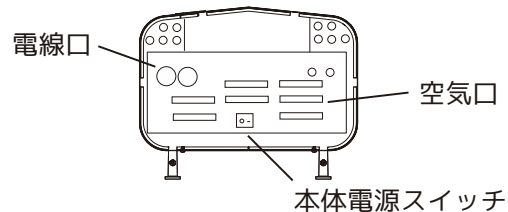


- 1.アロマボウル
- 2.本体取付ブラケット
- 3.短絡銅版

- 4.取付けビス各種



上面図



本体下部図

サウナヒーター		Sport6	Sport8
KW		6.6	8
単相200V	amp	33	40
	mm2	10	16
3相200V	amp	19	23
	mm2	4	6

形式	SNSE Sport6
出力	6.6Kw
電源	単相・三相 200V
適応容積	3~8M ³ 単位：立米
操作パネル	無し 本体操作型

形式	SNSE Sport8
出力	8Kw
電源	単相・三相 200V
適応容積	6~12M ³ 単位：立米
操作パネル	無し 本体操作型

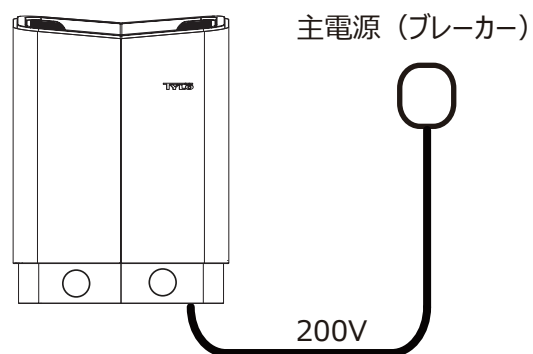
6KW/8kW 共に同サイズです。

Sense Sport の設置について

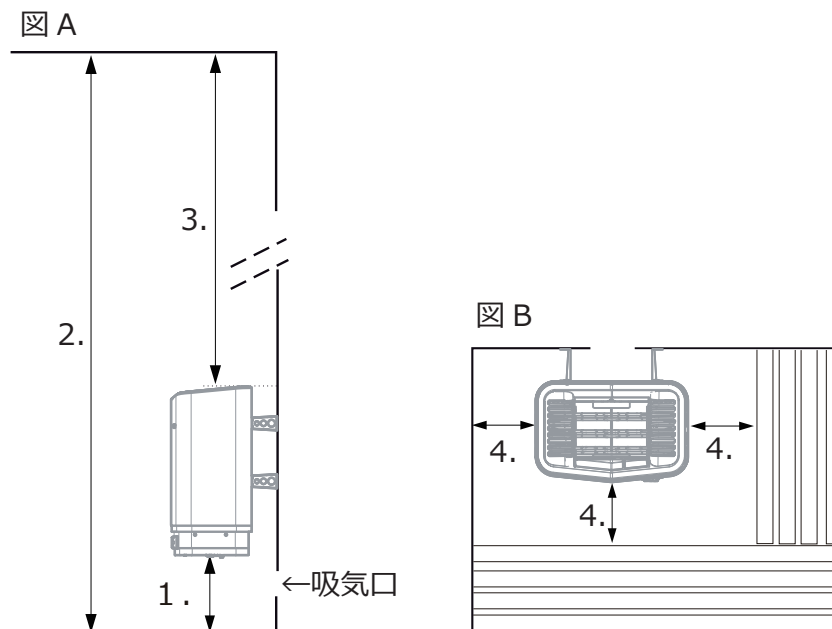
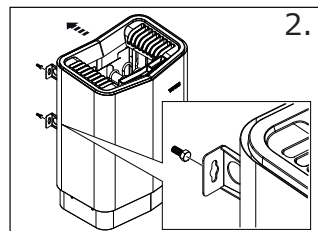
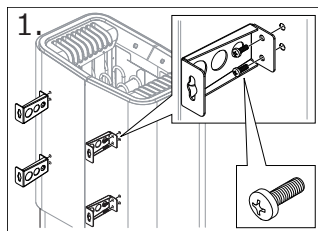
※SenseSport は温度センサーが本体内蔵の為電源を繋ぐだけで OK です。

ヒーターは床より 270mm の位置に設置して
横壁から最低 100mm 以上は距離を取ってください

(専用壁掛けラック同梱)



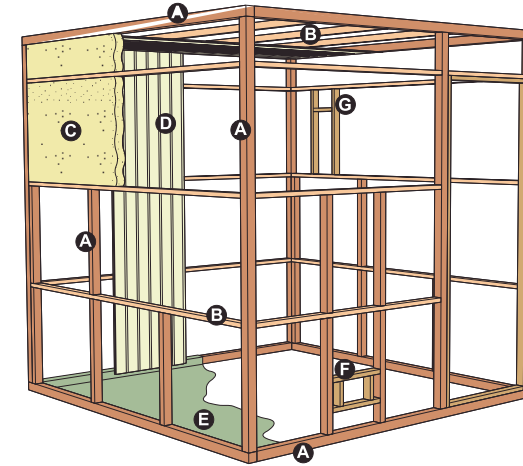
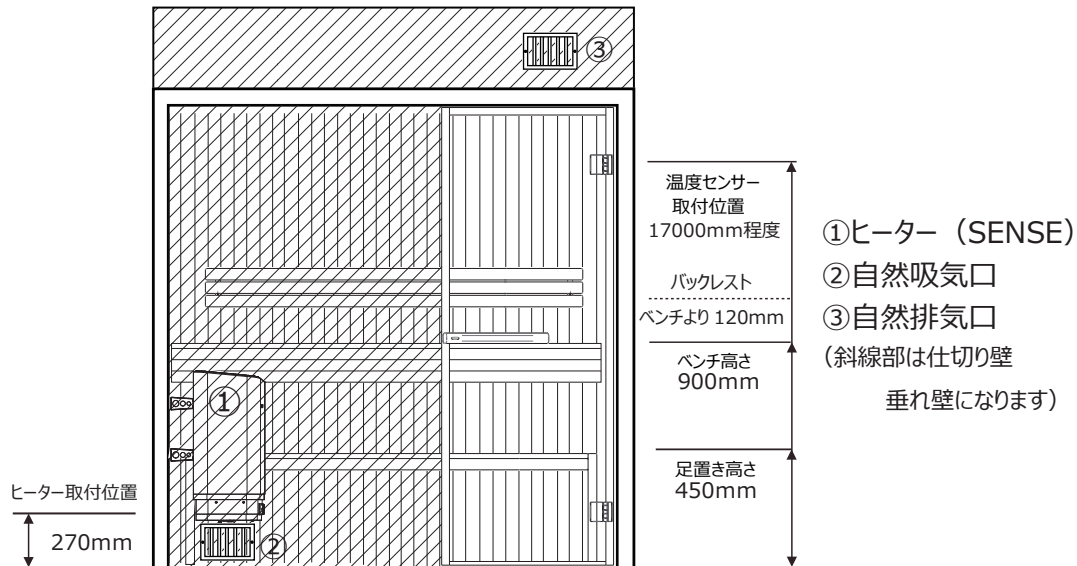
サウナヒーターの取付け方



- 図 A : 1. ヒーターの設置位置は床より 270mm の位置に設置して下さい。
- 図 A : 2. サウナ室の天井高は 1900 ~ 2200mm 程度に設定して下さい。
- 図 A : 3. ヒーター取付位置から天井まで最低 1030mm 以上は確保して下さい
- 図 B : 4. ヒーターの左右側面と前方は (壁やベンチ) 100mm 以上は距離を取って設置して下さい。

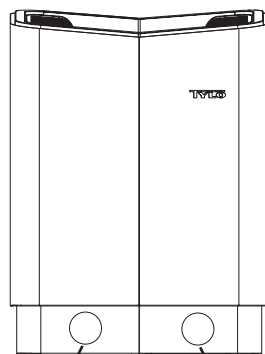
サウナルームの作り方

各種取付設置例



- A = フレームは垂木や 2×4 材で施工
- B = 補強材
- C = 断熱材 50mm(壁と天井全て) + タイベックシート
※断熱材・グラスウール・ウレタン等
- D = 室内仕上材 (アスペン・スプルス・ヒノキ)
※入浴中身体に触れない箇所はタイルでも可
- E = フローリング・タイル・クッションフロア
※床付近は温度上昇せず、水分を吸わないような素材
- F = サウナヒーター真下部分・吸気口 100φ程度
- G = 上部・排気口 100φ程度
- ベンチ = 1 段目 H450mm(足置き)
2 段目 H900mm(座席)

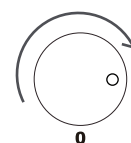
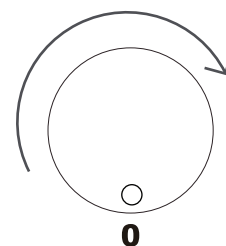
※Cの断熱材とF・Gの吸排気口は必ず設置して下さい



A 電源スイッチ&タイマー
リセットボタン B 温度調節レバー

温度を設定する

B 温度調節レバー
拡大図

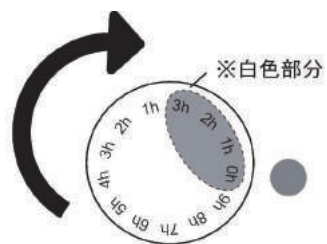


右に回す

B は温度調節のダイヤルになります
ダイヤルのメモリを右に回すと室内温度が上昇
します、ダイヤルが0のままだと室温は上昇
しません。お好みで調節して入浴して下さい。

サウナを運転する

A 電源スイッチタイマー
拡大図



A のスイッチレバーを0hの位置から※左図白色部分の1h.2h.3hの
位置に回して合わせるとサウナヒーターの電源が入ります。1に合わせると
1時間後に自動停止、2に合わせると2時間後に自動停止、3に合わせると
3時間後自動停止に設定できます。

(3時間以上連続運転する場合はスイッチを入れ直してください)

以降の1～9までの数字はタイマー予約になります。
例えば9hに数字を合わせると9時間後にスイッチON
になり3時間連続運転して停止します。

TYLO サウナヒーターは中央部の石の部分に水を掛けて
加湿して楽しんでいただけます、石が十分に熱されてから
(運転開始後30分以上) ひしゃくなので水を掛けて下さい。
※石が十分に熱されていない状態で水を掛けると本体内部に
水が入り込み故障の原因になります。

